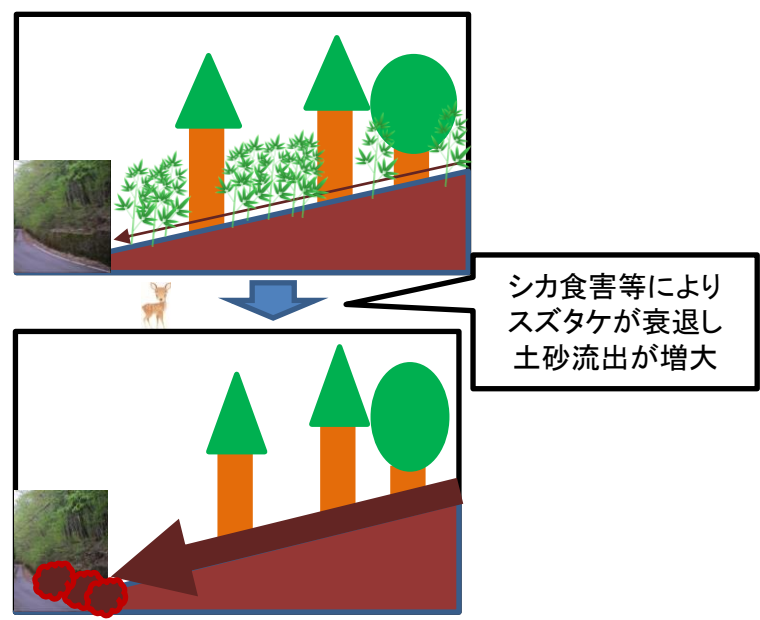


森林下層植生が水源涵養及び土壌流出防止に及ぼす影響と植生回復に関する研究(H31-33)

森林総合研究所

背景・目的

- 森林の下層植生は、土壌流出防止機能と水源涵養機能を発揮させるために重要である。
- ニホンジカの影響等により下層植生が衰退しており、土壌流出が懸念される。
- 県内の下層植生の代表であるスズタケ[ササの一種]生育地を中心に、以下について解明する。
 - ①どこで下層植生が失われているか？
 - ②どこで土壌流出リスクが高いか？
 - ③どのように下層植生を回復させるか？



研究内容

試験・研究項目	1年目	2年目	3年目
①過去の資料に基づいたスズタケ衰退状況の把握	↔		
②下層植生量と土壌流出量の関係の定量化	↔	→	
③土壌流出リスクの地図化			↔
④下層植生回復策提示			↔

期待される効果

- ニホンジカ管理や下層植生回復を集中的に実施すべき箇所を明示し、水源林の保全や土壌流出管理に活用する。
- 植生回復コスト・流出土壌撤去コストを明示し、下層植生の経済的な価値を評価できる。

